

※この報告は、一時転用の期間中、毎年2月の提出
期限までに写真を添付し、ご提出ください。

記入例

(別紙様式例第4号)

営農型発電設備の下部の農地における農作物の生産に係る状況報告

年 月 日

宇城市農業委員会会長 様

営農者ではなく転用許可を受けた個人もしくは法人が報告者となります。

住所 熊本県〇市〇〇町〇〇123
氏名 〇〇 〇〇

年 月 日付け 第 号で農地法第 条第1項の許可を受けた農地に係る営農型発電設備の下部の農地における農作物の生産に係る状況について、下記のとおり報告します。

記

支柱の基礎部分の面積（一時転用の面積）

1 許可を受けた土地等の所在及び面積等

所在及び地番	面積
熊本県宇城市〇〇町〇〇123	1.5 m ² (1,500 m ² のうち)

2 営農型発電設備の下部の農地における営農者の氏名等

氏名	備考
〇〇 〇〇	

括弧内は支柱の基礎部分の面積＋パネル下部の面積の合計

3 営農型発電設備の下部の農地における農作物の生産に係る ア イ以外の場合

作付作物	作付面積 (m ²)	単収 (kg/10a)	地域の平均的な単収 (kg/10a)	品質 (等級、糖度等)	遮光率	備考
水稻	1,500	490	500	1等米	〇%	

収穫がない場合には、「単収」及び「品質」欄は「-」を記入してください。また、今後の作付けまでの予定を下段に記入してください。

申請時に選んだア、イのどちらかを記入。

パネル下部の農地の面積

イ 荒廃農地を再生利用した場合

作付作物	作付面積 (m ²)	農地の利用の程度	品質 (等級、糖度等)	遮光率	備考
水稻	1,500	〇〇〇〇〇〇〇〇	1等米	〇%	

農作物の生産状況について、周辺の地域の農地利用の程度と比較した利用の程度を含めて記入してください。

(上記記載について知見を有する者の所見)

※知見を有する者が申請時と異なる場合には、新たに知見を有する者の職業や経歴、人物を紹介する書類を添付してください。

所見（具体的に記載してください。）

(例) 地域の単収と比較して8割を超えており、品質も保たれている等。

確認年月日 年 月 日

作付けがない場合には、「知見を有する者の所見」及び「知見を有する者」の記入は必要ありません。

知見を有する者 所属
役職・氏名
連絡先